



## 留萌市食農教育推進協議会

【留萌市】

### はじまりは？

稲作が主力の留萌市農業、決して恵まれた生産条件とは言えない中山間地域において、農家は米価低迷や高齢化、後継者不足、就業人口の減少など、農村社会を取り巻く環境の変化に遅れを取り、地域水田農業の持続的な発展に暗雲が漂っていました。

一方子供たちは、昔であれば当たり前で遊んでいた場所や遊び方が制限され、実体験から学習すべき能力が低下していました。とりわけ、農村地区の子供でさえ手植えや手刈りを経験したことがない有様でした。そこで、私たちは留萌市における「農村地域の活性化」と「子供たちに対する体験学習の推進」を目的に、食農教育活動を進めています。いずれは、多くの人々が農村の魅力を肌で感じ、農家との心の交流が促進されることにより、留萌市農業を留萌市民が食べ支える環境を作りたいと考えています。



田植え体験の様子

### おもな活動



稲刈り体験の様子

留萌市内の小学5年生を対象とした田植え体験、稲刈り体験の体験学習と、参加小学生全員で一年の思い出を描いてもらい、一般の人たちに見てもらおう農村絵画コンテスト、その中で優秀な絵画5枚と子供たち全員の写真を載せたオリジナル米袋300袋を食育米として販売を行っています。

体験学習には、これまで1,000人を超える子供たちが参加し、中には農家を継ぎたいという子供たちもいます。これからも、留萌米の魅力地域内外に伝えていって欲しいと願っています。

### ここが自慢

#### 【留萌市民が食べ支える農業を】

留萌市農業はコメを基幹作物とし、その品質は全道でもトップクラスです。しかし、地元の人たちが留萌のお米を食べている割合が少なく、高品質米の産地であることを知らない人も多くいます。

教育現場では、総合学習の一環として水稻の勉強が始まり、農業体験がスタートしました。回を重ねるたびに受け入れ小学校も増え、現在は、留萌市すべての小学校を受け入れられる体制を作ることができました。

担い手不足は深刻な現状ですが、だからこそ地元理解してもらい、留萌市民が食べ支える農業を展開し、農村地域の活性化に貢献できる活動をしていきたいです。



コメファイターと記念撮影の様子

### データ

■代表者: 佐藤 剛信さん / 設立: 2010年 / 会員: 36名

■連絡先: 北海道留萌市大字留萌村字幌糠1954 南るもい農業協同組合 幌糠支所

■電話: 0164-46-1211

■FAX: 0164-46-1213